

広報

第979号

いながわ

3月

令和3年
(2021年)



お母さんと一緒にオニのお面づくり(社会福祉会館・親子あそびの広場)

特集

令和3年度町長施政方針

小さくても輝くまち

- 道の駅いながわ機能拡大プロジェクト ○ 9
- 新型コロナ関連情報 ○ 10
- 農地を貸したい・借りたいをサポート ○ 12
- 瞬(ときめき)
- 猪名川町レスリング協会・猪名川レスリングクラブ ○ 25
- ガイドのオススメ★国史跡～多田銀銅山遺跡へ～ ○ 26
- いながわ特派員報告
- 食べて笑顔にいなパンめぐり ○ 28



春の訪れを告げる菜の花(北野バイパス)

施政方針

小さくても輝くまち



猪名川町長 福田 長治

2月24日に行われた第404回町議会定例会で、福田町長が新年度町政運営と重要施策について説明しました。

※要旨抜粋・全文は企画政策課窓口または町ホームページ

▶問合せ 企画政策課 (☎766-8711)

3つの調和

「小さくても輝くまち」私が初めて町長に就任した時に掲げた言葉です。小さくても輝くまちとは、大都市と比較して物事を捉えるのではなく、人に個性があるように自治体にも個性があると考え、その個性を伸ばし、唯一無二のまちづくりを進めるという決意の言葉です。

近年では特に3つの調和を大切に取り組んでいます。それは、「都市と自然の調和」「世代間の調和」「伝統と改革の調和」です。

都市と自然の調和

猪名川町は豊かな自然環境が誇りである一方、都市機能がもたらす利便性の向上に期待する声も多くいただいています。恵まれた自然環境を活かしながら、都市機能の充実を目指します。特に高齢化が進む本町にあっては、日常生活で欠かすことのできない買い物や通院といった生活における不安解消に向け、民間事業者との連携や、IT・ICTの活用など検討を進めていきます。

伝統と改革の調和

地域に残る伝統行事など、数多く残されている歴史と文化を継承しながら、将来のために新たな価値の創造が必要です。新名神高速道路の開通や、その効果を活かした産業拠点地区の整備など、これから移り住む人にとっても魅力あるまちづくりを進めていきます。

世代間の調和

多世代が互いに尊重し、生き生きと暮らせるまちづくりを進め「子育てするなら猪名川町」、「健康長寿のまち猪名川町」の実現を目指してまいります。



「つながり」と「挑戦」
「幸せと笑顔」
あふれるまち猪名川」を目指して

職住近接のまちづくり

産業拠点地区（差組・肝川地区）において、先端的物流施設の一大集積拠点を目指し、プロロジスと連携し、まちづくりにおいても地域とともに発展する新しい物流プラットフォームを築いていきます。テナント進出が予定されている各企業とも連携を図り、防災面での活用や地域雇用の拡充・移住人口の拡大など、これからの町の活性化にとって非常に大きな意味を持つ事業となっています。

誰もが住み良いまちづくり

交通需要が分散し、公共交通の利用者数が少ない地域を補完する新しい交通システムとして実証実験を行っている「チョイソコいながわ」は、新年度から有償での実証実験となります。この結果を見ながら、既存の路線バスや鉄道などの公共交通の利便性・接続性を高め、多くの人に利用していただ

くことで、公共交通の維持確保対策に繋げていきます。

次代を担う子どもたちの教育環境の整備

多様化する社会の中で、子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばし、生き抜く力を育むためには、個々の特性に応じた環境を整えることが大切です。

このことなどからも、令和4年4月には中谷中学校と六瀬中学校を再編して、新たに「清陵中学校」を開校します。再編にあたっては、両校の歴史と伝統を土台にして、新たな魅力と価値を創造し、未来社会をたくましく生き抜く子どもたちを育てることを目指して準備してまいります。

ウィズコロナへの取り組み

大野アルプスランドは、自然を満喫できる観光地であり、コロナ禍において改めて施設の必要性が見直されています。ごみの投棄問

題などの課題は残るものの、現行試行的にキャンプ場を再開しており、今後本町の交流拠点として更なる整備を進めます。
事業者募集など、業務スケジュールの見直しを余儀なくされた道の駅いながわ機能拡充については、農業振興、観光振興の拠点施設としての役割に加えて、子育て支援や交通事業者の協力も得ながら、公共交通の乗り入れも協議していくなど、これからの町の活力を生み出す施設整備として事業者募集などの事業を推進してまいります。
既に導入しているオンライン会議やリモートワークの仕組みを活用し、まちづくりに活かせるよう検討してまいります。事業者においてもリモートワークの導入が進んでおり、またワーケーションという新しい働き方も広まってきています。本町の立地や環境はこうした新しい働き方に適していることから、新年度に向けて移住相談をこれまで以上に積極的に取り組めるよう体制の整備を行います。
また、新型コロナウイルスの感染予防対策については、3密回避や衛生管理の徹底などの感染防止対策に努め、ウィズコロナに万全の態勢で臨めるよう職員一丸となり取り組んでまいります。

当初予算

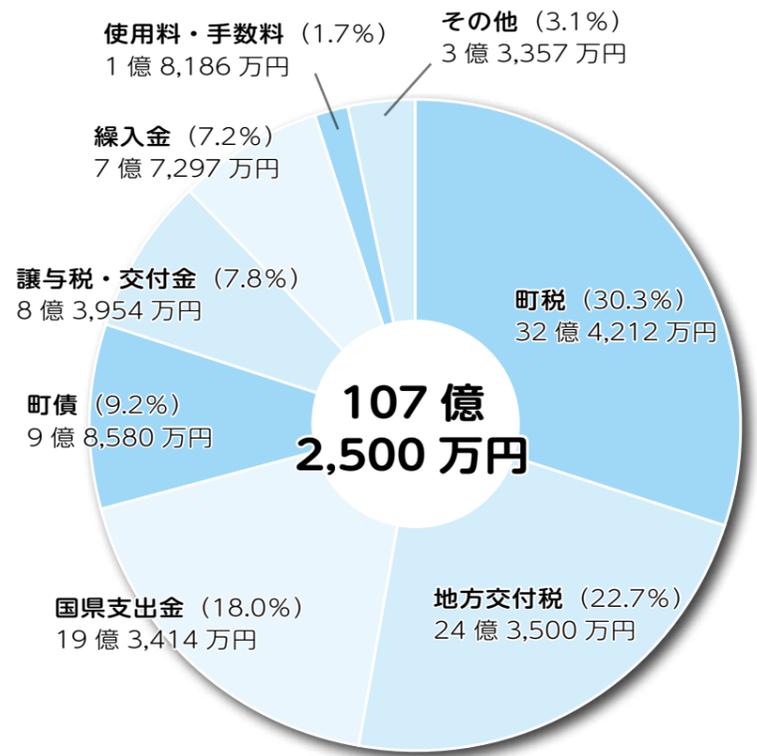


この予算案は、3月26日まで開催される第404回町議会定例会で審議されています。一般会計を中心にその概要をお知らせします。※詳細は町ホームページ
 ▷問合せ 総務課 (☎766-8708)



一般会計の歳入

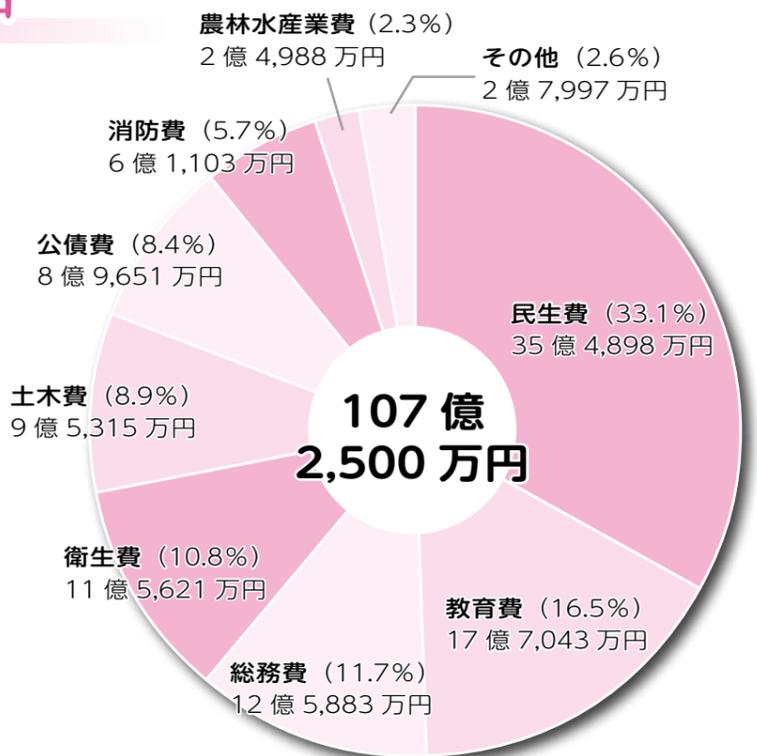
町税、譲与税・交付金は新型コロナウイルス感染症の影響で所得や消費が減少したことなどにより前年度から2億4,246万円(5.6%)減少しました。国県支出金は、新型コロナウイルスの予防接種に係る国庫負担金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などにより前年度から1億622万円(5.8%)増加となりました。



一般会計の歳出

農林水産業費は、前年度に道の駅整備事業や治山事業などの大規模な事業経費を計上していたことなどにより前年度から6億4,764万円(72.2%)減少しました。

一方で、教育費は、中学校再編に向けた通学バスの購入や小中学校の給食費公会計化などにより前年度から1億5,589万円(9.7%)増加しました。また、総務費は、衆議院議員、県知事および町長選挙に係る選挙費などにより前年度から7,787万円(6.6%)増加し、衛生費は、新型コロナウイルスワクチン接種の実施を予定していることから、前年度から4,671万円(4.2%)増加しました。



令和3年度当初予算の内訳

一般会計、特別会計、企業会計の総額は、201億6,612万円で、前年度より2億3,932万円(1.2%)減少しています。(下表)

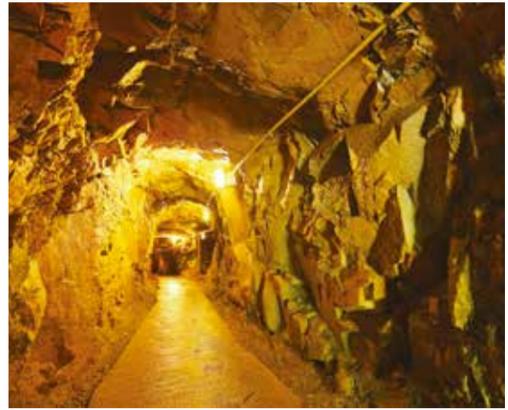
新や新型コロナウイルス感染症の予防接種を実施する一方で、大野アルプスランド下山道の安全対策工事が令和2年度で完了したことなどから、4億4,900万円(4.0%)減少しています。

一般会計の予算総額は107億2,500万円で、消防指令センターの高機能指令システムの更

会計名	令和3年度当初	令和2年度当初	比較	増減(%)	
一般会計	107億2,500万円	111億7,400万円	△4億4,900万円	△4.0	
特別会計	国民健康保険	32億8,822万円	32億5,514万円	3,308万円	1.0
	介護保険	24億5,375万円	23億7,335万円	8,040万円	3.4
	後期高齢者医療保険	8億5,619万円	8億824万円	4,795万円	5.9
	奨学金	3,139万円	1,890万円	1,249万円	66.1
	小計	66億2,955万円	64億5,562万円	1億7,392万円	2.7
企業会計	水道事業会計	11億420万円	10億3,387万円	7,033万円	6.8
	下水道事業会計	17億737万円	17億4,195万円	△3,457万円	△2.0
	小計	28億1,157万円	27億7,581万円	3,576万円	1.3
合計	201億6,612万円	204億544万円	△2億3,932万円	△1.2	

※端数処理により各項目の数値と合計欄が一致しない場合があります

主要事業概要



交流・活力を
うみだすまちづくり

多田銀銅山文化財保存活用事業
687万円(継続)

国史跡多田銀銅山遺跡の魅力と価値をご自宅などでも学習していただけるよう、ホームページ上で青木間歩や代官所跡などの史跡を映像で体験できるデジタルコンテンツを段階的に整備します。また、金山彦神社を安全に見学していただくため、隣接する石積に落石防止網を設置します。

清流猪名川
ふるさと応援寄附金事業
2252万円(継続)

ふるさと納税による寄附をいただいた人へ、「ぼたん鍋セット」など旬の特産品を贈ります。特に寄附が多い関東地域でのテレビ広告などによるPRを行い、寄附の増加を目指します。



大野山管理運営整備事業
1億1622万円(繰越含む)

大野アルプスランドは、衛生面に配慮した環境整備の一環として、水洗トイレの新設や炊事場の設備などの改修を行い、キャンプ場の本格的な再開を目指します。

誰もが挑戦・活躍
できるまちづくり

コミュニティ推進事業
761万円(継続)

地域の特性を活かしたイベント開催など、まちづくり協議会の積極的な活動を支援し、地域コミュニティの推進や地域活性化を図ります。

また、地域課題の解決に向けた研修を行い、地域活動の担い手となる人材育成、地域の特性を活かした住民主体の特色あるまちづくりを進めます。

人を大切に育てる
まちづくり

町立中学校再編準備事業
2億5226万円(繰越含む)

猪名川町立中学校再編計画に基づき、新設中学校「清陵中学校」を令和4年度に開校します。新設校は、現中谷中学校の校舎を利用するため、必要な改修工事を実施します。また、遠距離通学生徒用のスクールバスの購入、中谷・六瀬両校生徒の事前交流授業の実施など、中学校再編に向けて必要な準備を進めます。

教育情報化
学校ICT強化推進事業
6420万円(拡充)

インターネットを利用して、町内外の学校との交流、プログラミング学習の実施や小・中学校への情報教育指導員の派遣を行うなど、学校ICTを効果的に活用した取り組みを行います。

男女共同参画推進事業
49万円(拡充)

性的少数者への偏見をなくし、性の多様性への理解を広めるため、新たに「猪名川町パートナー



シッパの宣誓に関する要綱」を制定し、宣誓書の作成、相談業務などを実施します。

健やかにくらしを
まちづくり

地域生活拠点整備事業
503万円(拡充)

障がいのある人の「親亡き後」に備えるため、緊急時の受け入れ先の確保や24時間相談体制の整備など、地域における生活の安心感を担保する機能を備え、障がいのある人やその家族が安心して暮らしているよう支援します。

高齢者外出支援事業
1227万円(拡充)

70歳以上で運転免許証を自主返納した人を対象に、返納時の1回に限り、阪急バスの定期券「hannicaグラランドパス65」、タクシー乗車券、交通系ICカードなどの購入費を助成します。

また、免許返納者以外の70歳以上の人を対象に、新たにhannicaグラランドパス65の購入費を所得の区分に応じて助成し、高齢者による自動車事故の防止および交通手段の確保による高齢者の外出支援に努めます。



道の駅いながわ 機能拡大プロジェクト

このプロジェクトは、平成 27 年度に策定した「猪名川町地域創生総合戦略」における重点プロジェクトとして取り組みをスタートしました。令和 3 年 2 月に実施方針などを公表し、民間事業者（以下、「事業者」）の公募手続きを始めており、新年度は事業者の決定に向けて進めていきます。

新たな道の駅は、農業振興や観光振興などの拠点となる施設を目指すとともに、物販サービス施設や子育て支援センターなど、今の道の駅にはない新たな機能を拡充することで、多世代にわたる多くの人々が気軽に立ち寄り、ゆっくりのびのびと過ごせる時間と空間を提供する道の駅を目指します。

▷問合せ まち活性化推進室（☎ 768 - 6016）

◆民間事業者と連携

このプロジェクトは、町と連携して事業に取り組む事業者を公募・選定し、事業者が資金調達から施設整備・運営までを行う「官民連携（PFI）手法」を取り入れ、民間の力を最大限に活用します。

◆事業内容などの一部変更

コロナ禍による生活様式の変化も踏まえ、今後も持続可能な施設とするためには社会の変化を柔軟に取り入れることが重要なことと考えています。

そこで、公募に先立ち事業者へのアンケート調査、社会・経済動向の情報収集などを行い、ウィズコロナの社会において高まったニーズを取り入れ、整備する機能（施設）や公募条件を一部変更しました（表 1、図面）。今後予定している事業スケジュールは表 2 のとおりです。

◆道の駅施設配置イメージ（敷地面積約 3.9ha）

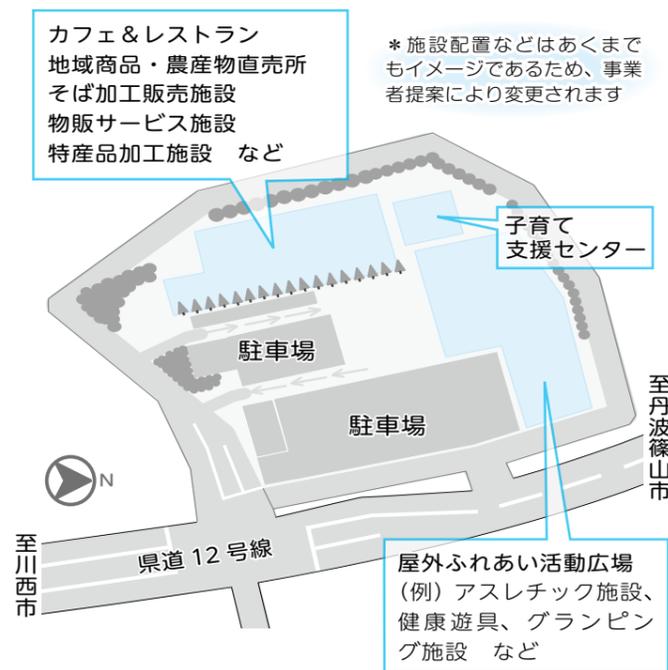


表 1. 事業内容の主な変更点

区分	変更前	変更後
施設機能	温浴施設	屋外ふれあい活動広場（※）
施設整備費	37 億 3,800 万円	24 億 7,110 万円
事業者の帰責事由に伴う契約解除時の対応	町と事業者の債権債務を相殺	事業者から町に納める納付金・賃料の 10%にあたる違約金相当額を保証金や保険として町があらかじめ預かり、契約解除の際には違約金として充当。併せて新たな事業者を公募・選定し、納付金・賃料を得る。

※屋外ふれあい活動広場は、例えば緑地・広場でのアスレチック施設、様々な健康遊具の体験、自然や人や文化（食・農業）とのふれあい・交流体験、オートキャンプ場やグランピング施設など、多様な施設が考えられることから、事業者の提案により具体化します。

表 2. 事業スケジュール（予定）

令和 3 年 3 月 1 日	令和 3 年 8 月下旬	令和 4 年 3 月	令和 4 年 3 月～令和 6 年 5 月	令和 6 年 7 月
事業者募集開始	事業者の決定	事業契約締結	設計、建設、工事監理	開業

がん検診事業

8311万円（継続）

各種がん検診などの受診率の向上と検査の充実を図るとともに、特定の年齢層に対して、子宮頸がんおよび乳がん検診、肝炎ウイルス検診の無料クーポン券を送付し、受診促進とがんなどの早期発見、健康意識の普及・啓発に努めます。

自然と共生し快適に
くらするまちづくり

農地活用推進事業

52万円（新規）

新たに「猪名川町農地バンク」制度を開始し、農地の利用促進を図ります。また、荒廃農地を再生利用する農業者を補助する制度を創設し、耕作放棄地の解消に努めます。※農地バンク制度の詳細は 12 ページ

新規就農確保事業

1100万円（継続）

農家の高齢化や担い手不足などを背景に、町内の荒廃農地は年々増加傾向にあります。新たな農業の担い手を確保し、地域農業の振興を図るため、認定新規就農者と

なった人などに対し、就農直後の経営確立を支援する資金を補助します。

また、就農当初の負担軽減のため、農業用機械および施設の付帯設備などに要する経費を補助します。

公園緑地維持管理事業

1億2488万円（継続）

総合公園、地区公園、近隣公園など46公園および71箇所の緑地の維持管理を行います。また、定期的な安全点検により公園遊具による事故を未然に防止し、適切な維持管理に努めます。令和3年度は、登り尾公園（白金地区）の老朽化した複合遊具を、皆さんが木に触れ合う機会になるよう、国産材を利用した木製遊具に更新します。

安全・安心を守る

まちづくり

防災対策事業

3160万円（拡充）

町の防災力向上に向けて、土砂災害警戒区域ごとの危険度予測システムを導入します。システムの検証作業を行ったうえで、より精度が高きめ細かい避難発令につなげます。

公共交通対策事業

6801万円（拡充）

令和 2 年 3 月に策定した「猪名川町地域公共交通ネットワーク見直し方針」における将来の公共交通ネットワークの実現に向け、「猪名川町地域公共交通計画（仮称）」を策定します。

また、ネットトヨタ神戸株式会社の連携協力のもと実施している「チョイソコいながわ」は、令和 3 年度より有償化での実証実験に移行します。

消防施設整備事業

1億1710万円（拡充）

災害に伴う 119 番通報から消防車両などの出動指令までの迅速化を図り、通信指令体制の機能を強化するため、2 市 1 町消防指令センターの高機能指令システムを更新します。

